

梅雨目前！イオンにエコ&キュートなレイングッズが登場！

環境にやさしいビニール傘！自分で着せ替え可能。しかも壊れにくい

「トップバリュ fururi」6/2より本格展開

着せ替えの組み合わせは最大46通り！

イオンは、梅雨に向けて高まるレイングッズ需要にあわせ、ビニール生地と傘骨をそれぞれ組み合わせて着せ替えできるビニール傘「トップバリュ fururi」（以下、「ふるり」）を本州・四国・九州の「イオン」「イオンスタイル」約390店舗にて、6月2日（木）より本格展開します。「ふるり」は、これまで“使い捨て”が当たり前とされたビニール傘を長く使っていただくために開発した、エコでファッションナブルな次世代のビニール傘です。

ビニール傘は、価格がお手頃でどこでも気軽に購入できることから10～30代の方を中心に日常的に使用されています。一方で、近年の“ゲリラ豪雨”のように急な天候変化により、出先でのビニール傘の購入が増えることで傘の置き忘れも増加し、さらに激しい雨風によって壊れた傘が街中に放置され、社会問題になっています。

ビニール傘も“着せ替え”で自分らしく！

最大46通りの組み合わせからお気に入りの1本を！

「ふるり」は、ビニール生地と傘骨に分解し、簡単に自分で生地の張り替えができるので、自由にお好きな色や柄で組み合わせられる傘です。張り替え生地は、ピンクやイエローなどのカラフルな色合いにフラワーやボーダー、水玉柄をあしらったデザインの品揃えがあります。



壊れにくく、ずっと使える！

柔軟性と強度を備えた樹脂性の傘骨は、やわらかく折れにくいので、強風で反り返っても元に戻すことができます。また、一般的なビニール傘に使用されている鉄性の骨に比べさびにくいので、より長くお使いいただけます。



植物由来のビニール生地を使用した、環境にもやさしい傘です。

「ふるり」のビニール生地は、原料の一部に二酸化炭素の排出量を抑えるサトウキビ由来のグリーンポリエチレンを使用しています。ビニール生地、石突き、傘骨のパーツごとに分解できるので、ごみの分別がしやすく、リサイクルにつながる環境にやさしい商品です。



また、「ふるり」の売上の一部は、生産国であるカンボジアの子どもたちの教育支援のため、アジア地域において青少年の健全な育成などを目的に活動する公益財団法人イオンワンパーセントクラブを通じ、認定NPO法人 難民を助ける会「AAR Japan」に寄付します。

【販売概要】

店頭発売日：5月26日（木）

本格展開日：6月2日（木）

展開店舗：本州・四国・九州の「イオン」「イオンスタイル」約390店舗

WEB販売：イオンドットコム内「イオンスタイル ファッション」
(<https://shops.aeonsquare.net/shop/c/c18401810/>)

アイテム数：①長傘 <無地> 6種類 <プリント> 8種類（4柄×各2色）

②張り替え生地 <プリント> 8種類（4柄×各2色）

※張り替え生地は、プリントのみの展開です。

※傘骨だけの販売はありません。

※店舗によって、取扱いの商品が異なります。

規 格：長傘60cm

価 格：①長傘 <無地> 880円（税込950円） <プリント> 1,480円（税込1,598円）

②張り替え生地 <プリント> 680円（税込734円）

【組み合わせ例】

The diagram illustrates the combination of a long umbrella and a replacement fabric. On the left, a blue long umbrella is labeled 「<長傘>ネイビー」. In the center is a package of replacement fabric labeled 「<張り替え生地>ピンクボーダー」. An equals sign follows, leading to two examples of the resulting umbrellas. The first example is a blue umbrella with a blue frame, labeled 「(生地) ネイビー × (傘骨) ネイビー」. The second example is a pink and white striped umbrella with a blue frame, labeled 「(生地) ピンクボーダー × (傘骨) ネイビー」.

長傘と張り替え生地を組み合わせると、最大46通り！！

キュートな
マリンスタイル！！

◆【公益財団法人イオンワンパーセントクラブ】について

1989年に設立し、「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善の促進」「地域社会の持続的発展」に資する事業を3つの柱として活動しています。

ホームページ：<http://www.aeon.info/1p/>

◆【認定NPO法人 難民を助ける会「AAR Japan」】について

AAR Japanは、1979年にインドシナ難民を支援する市民団体として日本で設立されました。これまでに60を超える国や地域で自然災害の被災者や紛争による難民の支援をはじめ、障がい者支援、地雷対策などに取り組んでいます。東日本大震災発生時には、支援物資の配布や障がい者施設への車両提供をはじめとした支援を行い、復旧・復興の段階に応じた支援を現在も被災地で継続して実施しています。カンボジアでは1992年から障がい者支援を開始しています。現在は、障がいのある・なしに関わらず子どもたちが教育を受けられるよう支援を行っています。